

 開校明治七年 開校149年目	大和田小だより 学校教育目標 かしこく やさしく がんばる子 大和田小は新座の始めの学校。来年度開校150周年です。	めざす学校像 子供の自己有用感を向上させ、主体的・協働的な学びを大切にする学校 ～すべての子を大和田小の光に～ 6月号 令和5年6月1日 新座市立大和田小学校 児童数 780名・学級数 27学級	6月の生活目標 校内を 静かに歩こう 登校する時、下校する時 授業の間の行動の様子 休み時間の過ごし方
---	--	--	--

水無月 保護者・地域の方々の支援に感謝

校長 近藤章宏

見守られています～登下校～

本校の校区は東西に長く広がっており、東は朝霞市との市境から、西は三芳町に近いところまで伸びています。多くの児童は旧川越街道に出てから、学校まで真っすぐに歩道を歩いてきますので、途中にある水道走路や大門通り、志



木街道などの大きな通りを渡ってきます。大きな通りには交通指導員が配置され、子供たちの見届けを行っています。交通指導員の皆さんは元保護者であったり、地域の方々であ

ったりして20年以上かかわっていただいている方もおります。

また区画整理により、旧道につながる道が増え、子供たちの登下校時にも自動車の往来があり



ます。そのような多くの場所では町内会や地域の方々が安全ボランティア活動をしていただいています。さらに多くの保護者の方々が通学班の集合場所や通学路の途中まで送迎をしていただいています。中には通学班の最後の班を見届けながら毎朝学校まで来ていただいている方もいらっしゃいます。



このように本校では保護者や町会の皆様のご協力で、登下校の安全パトロールを実施していただいています。登下校時の安全面の見届けとともに、あいさつを通して地域との結びつきを実感させ、子供たちの礼儀、規範意識の向上を図ることができていると感じています。

豊かな学びの場～読み聞かせボランティア～

毎月一回程度、PTAやボランティアによる読み聞かせを行っています。昨年度までは1時間目の始まる前の時間を利用して行っていましたが、本年度から朝の日課を見直したので、第3月曜日の昼休みの後に実施するようになりました。コロナ禍の中で対面での実施も難しく、オンラインでの実施など工夫をし

てまいりました。それでも昨年度から対面での読み聞かせを再開させ、豊かな学びの場を取り戻すことができました。先月には本年度第1回目の読み聞かせを行っていただきました。ボランティアの方の中には10年以上も参加していただき、本校のココフレンドでもご活躍されている方もいらっしゃいます。大和田小の子供たちへの深い愛情を感じます。ありがとうございます。



大和田小の伝統です～学校農園での活動～

本校の学校農園は神明神社の脇の道を入った先に設置されています。春から夏にかけてはジャガイモ、秋から冬にかけてはダイコンの畑になります。また、なかよし学級の子供たちも思い思いの野菜を育てています。冬のダイコンに関しては20年以上前から取り組んできており、当時から育てた野菜を販売して、その収益で社会福祉協議会に車椅子を寄付してきている伝統があります。



子供たちも、野菜の苗植えや種まき、草取りなどで主体的に野菜作りに参加していますが、準備や日頃の畑の見回りまでは手が回らないこともあります。そこで本校では地域のボランティアの方々が野菜作りの準備や、草取りなど多くの部分をフォローしていただいています。子供たちに豊かな農業体験や地域の方々との交流の機会をいただいていることに感謝申し上げます。

他にも校内の花壇の手入れや、校外学習や実習の際のサポーターなど環境整備や学習支援の場面で本校を支援していただいております。子供たちが、学校や地域を理解し支援をして頂ける「大人」の方々とふれあうことで、地域の伝統を担い、地域を支える子として育っていけると強く感じるところです。今後もより多くの方々から支援いただき、愛される子供たちそして愛される学校を目指してまいります。